

I. 実践的研究の論点の整理

- * 深刻化する住宅団地の高齢化問題、社会的背景
- * 美浜地区における「団地再生」の意義と方法
- * 団地再生の手段としての ICT 導入・活用

II. 基礎的背景条件の調査・分析

1. 美浜地区における超高齢化の

現状把握と将来予測

- ① 在住人口の動向
(町丁目別の人口構成、将来推計)
 - ② 高齢者等人口・世帯分布
(高齢者人口、前期・後期、高齢世帯、高齢者単身帯、障がい者世帯、子育て世帯)
- * 団地人口高齢化要因の分析、整理
 - * 上記情報のデジタル地図化表現

2. 高齢者等生活支援サービスの現状を ベースとした需要想定(推計)

- ① 生活支援サービスの種類と現在の需給状況、
損益・人材等の課題
- ② 今後の高齢化率上昇傾向
(地区別、居住棟の形態別の分析)
- ③ 生活支援サービスの需給想定

IV. 最新 ICT 情報機器及び システムの検討

1. サービス・メニュー別のケース想定 (需給想定、時系列評価)

- ① システム構成 ② 導入の方法・手順
- ③ 現状サービスから情報化シフト段階の課題

2. 各種導入システムの検討

- * 高齢者向け iPad 等情報端末、見守り、ライフログ等
- * サービス対応システム(相談、緊急通報、中継、受発注、レセプトシステム等)
- * 利用者・提供者の位置検索地図表示システムの検討(マッピングシステム、要介護者情報)

3. ニーズと技術革新の進展を考慮したモデル化検討とマネジメント

- * サービス組み合わせのセットモデルの検討
- * 運営管理の組織体制(コールセンターとサービス事業者、ユーザー、公的機関との連携)
- * 運用管理(情報機器のメンテナンス、教育訓練、ランニングコスト)* エリアマネジメント

III. 地域共助のコミュニティ形成 『美浜方式』の現状と課題の整理

1. 地域事業者が行う高齢者等 生活支援サービスの種類

2. 地域事業者へのアンケート調査

- ① サービス内容と利用の方法、需給動向等
- ② 現在の損益状況、今後の公的福祉サービスの受け皿としての可能性
- ③ 現状から見た実績評価と運営に当たっての問題点、課題の整理
- ④ 現在のサービス提供能力(潜在能力)
- ⑤ 地域雇用の確保と増大の可能性

3. 介護福祉・医療系サービスとの連携 (ヒアリング調査)

- ① 介護保険法に基づく介護サービスの受託の現状と今後の可能性
- ② 緊急通報・各種見守りサービス等のアウトソース受託の可能性
- ③ ライフログ系の見守りサービスの可能性

4. 今後に必要なサービス

- * 高齢化進展で需要が増大するサービスメニューの検討

5. ICT 導入・活用にあたっての 期待効果と配慮事項

- ① ICT 導入・活用にあたっての期待効果
- ② 高齢者・要介護者向け仕様
(簡易な操作性、ユニバーサル設計)
- ③ 個人情報等の取り扱い(要介護者情報、顧客情報、利用履歴情報、事業者情報等)

V. 実践モデルの構築

- * 現況に応じた《第1世代モデルプラン》ICT活用初期の先行モデル
- * 高齢化の進展等と情報技術革新による《次世代モデルプラン》
- * 実現手段の検討とスケジュール設定
- * 事業の維持継続(組織体制、役割分担、経営方法、人材育成)